

会 議 録

- 日 時 令和3年10月29日（金）午後3時～4時30分
- 場 所 大田原市役所301・302会議室
- 出席委員 13名（細井直人委員長、松本町子副委員長、石下真弓委員、佐藤宏委員、阿久津雅章委員、友政真弓委員、人見英一委員、鴛巢隆美委員、湯浅泰正委員、田野道明委員、平山文夫委員、濱野将行委員、實寿夫委員）

● 内 容

1 開会

2 報告（委員の一部交代について）【吉成高齢者幸福課長】

令和3年4月1日付で中央地域包括支援センターの交代があったため、事前に委嘱状を交付したことを報告した。

3 挨拶【村越保健福祉部長】

○本市のワクチン接種事業について接種済み者の数は飛躍的な伸びを見せ、来月中には本市の希望する対象者は接種完了の見込みとなっている。

○本日の会議は前回から1年以上経過しており、当協議体の目指す方向性や昨年度までの経過等もこの後確認させていただきたい。

4 議題（要旨）

（1）令和2年度事業経過報告【事務局説明】

①第1層協議体等の活動について（資料1）

協議体が目指す地域像である『お互いの顔の見える地域づくりを目指して～住民が主体の共生社会を作ろう～』を再確認するとともに、これまでのワーキンググループやささえ愛サロンに係る事業など協議体活動の振り返りをした。

②ささえ愛サロン事業実績について（資料2）

令和2年度のささえ愛サロン事業について説明した。令和元年度は参加団体は16団体、令和2年度では17団体となった。なお、補助期間が3年間となっているため、令和元年度から事業に参加している14団体は年度末をもって補助期間が満了する。

（2）令和3年度事業計画【事務局説明】

①ワーキンググループ等について（資料3）

グループごとに、構成メンバーの確認、これまで話し合っていた内容を一歩進めるための事務局案を提案した。

【意見等】

細井委員長

大田原リハビリテーションネットワークなどと連携し、与一いきいき体操やフレイル予防サポーターの育成事業などを行い積極的に普及させるとよい。

濱野委員

市内のいろいろな場所で決められた曜日に体操を行うとともに、そこへ栄養状態

や口腔状態を指導する人にも参加してもらえるとよい。

人見委員

与一いきいきメイトが様々なところへ気軽に行って指導するとか助言するとかできれば普及するのではないか。

②第1層及び第2層の情報共有について（資料4）

3地域包括の地区分けで、第2層のSCと地域包括支援センターの情報交換会の場を作り、そこへ第1層協議体が参加し情報交換できるような“仕組みづくり”を行うことについて資料4の通り提案した。なお、東部包括ではすでに第2層SCとの情報交換を実施しているため、他の包括にも働きかけることを説明した。

（3）その他

【意見等】

人見委員

ささえ愛サロン事業について、補助期間満了となった団体が継続・拡充できるような方向で検討してほしい。また、補助金期間満了後の継続について予め確認しておくべきである。

濱野委員

早めに相談に乗って、既存団体の資金確保方法（野菜の販売や利用料徴収など）等についてアドバイスする等が大切である。

實委員

期間満了後も継続できるか最初にフォローアップする必要がある。「事業が終了するから居場所をやめる」というグループが出たときにはフォローアップしていくことが大切だと思う。

濱野委員

助成金や補助金によっては1年後の追跡調査がある。参考にされたい。

松本委員

ささえ愛サロンの補助金や追跡調査についてはワーキンググループの2班と3班で今後検討できる。

6 連絡・お知らせ

（1）地域包括支援センターのサロン運営支援について

石下委員

中央包括では、サロンの運営や活動内容について相談いただいた際に出前講座の

実施が可能。包括には様々な専門家がいたりつながっていたりするので相談いただきたい。

(2) 地域包括支援センターの出張相談の開設について

松本委員

山の手介護ステーション付近の駐車場で第4日曜日に日曜市が開催されており人が集まるため、合わせて中央包括支援センターが出張相談として「よいち相談室」を始めた。

(3) フレイル予防グラウンドゴルフの会について

松本委員

2号被保険者で認定を受けている方について、介護保険サービスの利用を躊躇する方や、交流やスポーツをしたいなど若い方特有の要望を見聞きしてきたため、リハビリをしながら社会的な交流ができる場として、「(仮称)フレイル予防グラウンドゴルフの会」をスタートする予定である。移送をやすらぎの里、会場を若草園、機材や技術指導を奈良スポーツに協力いただく等、民間も含めた社会資源を活用する。

(4) 冊子「ちょっと頼みたい有料サービス」「近所の通いの場・活動の場」の更新について

松本委員

国では、介護保険制度の持続のために介護予防に重点を置いて介護計画書の作成を作ることを勧めている。デイサービスより先に当該冊子に掲載された居場所を検討いただいた事例があった。

(5) 第2層協議体での内容について

松本委員

以前より、多くの地域で空き家の問題が出ていた。第2層協議体でも、苦学生などへの無料貸出しやシェアハウスとしての活用などの意見が出ていた。若い世代のことも話題に出るので、第1層協議体でも考えていきたい。

(6) 次回会議について

次回会議は2月ごろと考えている。追って通知する。

7 閉会（総括）

細井委員長

よく「横串を刺す（分野横断的な連携・共有）」と言われるが、委員の皆さんも積極的に串を刺す役を担い、大田原の地域づくりに協力いただきたい。